



# 漫画「縁側」に並んで

## ミニミュージアム 期間限定で開設

西合志図書館

合志市は11日までの4日間、1500冊の漫画をそろえた「ミニマンガミュージアム」を西合志図書館内に開設。腰掛けて漫画を読むことができる「縁側」のようなスペースを設けた。18日にも開設する。

市は図書館隣の西合

腰掛けと書棚を一体化させた「縁側」のようなスペース＝合志市

志郷土資料館を改修し、来年7月に「合志マンガミュージアム」を開館する予定。内装を担当の崇城大工学部建築学科の西郷正浩准教授(49)やNPO法人「熊本マンガミュージアムプロジェクト」のメンバーら約20人で、これまで4回のワークショップを実施。館内のデザインなどを検討してきた。

「縁側」のスペース

は書棚と腰掛けを一体化させた作りで、西郷准教授の設計。来場者の反応を見て、来年開館するマンガミュージアムの内装に反映させるといふ。来場した人たちは寝転んだり、腰掛けたりしながら、漫画に読みふけっていた。西郷准教授は「人の気配を感じつつ、読書を楽しめるように工夫したい」と話している。

(宮崎あずさ)